

LWE問題とケーリー・ハミルトンの定理

白勢政明 (公立はこだて未来大学)
応用数理学会2025年度年会

内容

- **LWE 問題**
- **準備**
 - ケーリー・ハミルトンの定理など
- **提案手法**
 - 命題2
 - 命題2の具体例
 - 命題2の証明
- **提案手法のLWE問題への適用**
- **まとめと今後の課題**

記号

- $\mathbb{F}_p := \{0, 1, 2, \dots, p - 1\}$
- \mathbb{F}_p^n : \mathbb{F}_p 上 n 次(列)ベクトルの集合
- $\mathbb{F}_p^{n \times m}$: \mathbb{F}_p 成分の $n \times m$ 行列の集合
- I_n : n 次単位行列
- 正方行列 $A \in \mathbb{F}_p^{n \times n}$ に対して
 $\Phi_A(x) := |xI_n - A|$ (A の固有多項式)
– $\Phi_A(x)$ の根はの A の固有値

(探索) LWE 問題

- $n < m$
- $A \in \mathbb{F}_p^{n \times m}$, $s \in \mathbb{F}_p^n$
 - 成分はランダムに選ばれる
- ノイズベクトル $e \in \mathbb{F}_p^m$
 - 成分は適切な標準偏差の離散正規分布に従って選ばれる
- $b := sA + e \in \mathbb{F}_p^m$
- (A, b) から s (または e) を見つける問題を
(探索) LWE問題 という
 - p, n, m が十分大きいと、量子計算機でも解けない
 - 耐量子計算機暗号

LWE 問題の例

- $p = 31$

- $A = \begin{pmatrix} 17 & 2 & 19 & 15 & 17 & 24 \\ 3 & 27 & 19 & 28 & 16 & 23 \\ 0 & 1 & 14 & 17 & 15 & 10 \end{pmatrix}$

- $s = (10 \ 16 \ 8)$

- $e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$

- $b = sA + e = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$

- 「 (A, b) から s (または e) を求めよ」

内容

- **LWE 問題**
- **準備**
 - ケーリー・ハミルトンの定理など
- **提案手法**
 - 命題2
 - 命題2の具体例
 - 命題2の証明
- **提案手法のLWE問題への適用**
- **まとめと今後の課題**

ケーリー・ハミルトンの定理など

- ケーリー・ハミルトンの定理
正方行列 A に対して、 $\Phi_A(A) = 0$ (零行列)

- 補足

$$\Phi_A(x) = x^2 + 3x + 4 \text{ ならば}$$

$$\Phi_A(A) = A^2 + 3A + 4I$$

- 命題1

A の行列式が $0 \Leftrightarrow \Phi_A(x)$ は根 0 を持つ

内容

- **LWE 問題**
- **準備**
 - ケーリー・ハミルトンの定理など
- **提案手法**
 - **命題2**
 - 命題2の具体例
 - 命題2の証明
- **提案手法のLWE問題への適用**
- **まとめと今後の課題**

提案手法の概要

$$n < m, \quad A \in \mathbb{F}_p^{n \times m}, \quad s \in \mathbb{F}_p^n, \quad b, e \in \mathbb{F}_p^m, \quad \mathbf{b} = \mathbf{s}A + \mathbf{e}$$

A がある条件を満たす時、

$$b_c B = e_c B$$

を満たす n 次正方行列 B を、 A から構成できる。

ここで、 b_c と e_c はある条件に依存した b と e の成分から n 個を選んだベクトル

提案手法に必要な用語

- $n, m \in \mathbb{N}, n < m$
- $c = (c_1, c_2, \dots, c_n) \in \mathbb{F}_p^n$: $\{1, 2, \dots, m\}$ から n 個を選んだ昇順組合せ
$$1 \leq c_1 < c_2 < \dots < c_n \leq m$$
- $v = (v_1, v_2, \dots, v_m), w = (w_1, w_2, \dots, w_m) \in \mathbb{F}_p^m$
- v の c に沿った部分ベクトル $v_c = (v_{c_1}, v_{c_2}, \dots, v_{c_n})$
- A の c に沿った部分行列 $A_c \in \mathbb{F}_p^{n \times n}$: A の c_1, c_2, \dots, c_n 列を並べた行列
- w の c に沿った拡張ベクトル (u_1, u_2, \dots, u_m)

$$u_i = \begin{cases} w_j & \text{if } i = c_j \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases}$$

(主結果) 命題2

$n < m$ とし、 $c = (c_1, c_2, \dots, c_n)$ を $\{1, 2, \dots, m\}$
 n 個を選んだ昇順組合せとする。

$A \in \mathbb{F}_p^{n \times m}$, $s \in \mathbb{F}_p^n$, $e, b \in \mathbb{F}_p^m$ は $b = sA + e$ を満たしているとする。

(a) A_c の行列式が0ならば、 $f_{A_c}(x) := \Phi_{A_c}(x)/x$ とすると
 $f_{A_c}(x) \in \mathbb{F}_p[x]$ であり、 $b_c f_{A_c}(A_0) = e_c f_{A_c}(A_c)$

(b) v^T を $f_{A_c}(A_c)$ の零ベクトルでない列ベクトルの1つとし、
 w^T を v^T の c に沿った拡張ベクトルとする。すると

$$bw = ew$$

予想

$f_{A_c}(A_c)$ の階数は 1

内容

- **LWE 問題**
- **準備**
 - ケーリー・ハミルトンの定理など
- **提案手法**
 - 命題2
 - **命題2の具体例**
 - 命題2の証明
- **提案手法のLWE問題への適用**
- **まとめと今後の課題**

命題2 (a)の例

$$n = 3, m = 6$$

$$A = \begin{pmatrix} 17 & 2 & 19 & 15 & 17 & 24 \\ 3 & 27 & 19 & 28 & 16 & 23 \\ 0 & 1 & 14 & 17 & 15 & 10 \end{pmatrix}$$

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$b = sA + e = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

命題2 (a)の例

$$n = 3, m = 6$$

$$A = \begin{pmatrix} 17 & 2 & 19 & 15 & 17 & 24 \\ 3 & 27 & 19 & 28 & 16 & 23 \\ 0 & 1 & 14 & 17 & 15 & 10 \end{pmatrix}$$

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$b = sA + e = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2, 4, 6)$$

$\{1, 2, \dots, m = 6\}$ から $n = 3$ 個選んだ

命題2 (a)の例

$$n = 3, m = 6$$

$$A = \begin{pmatrix} 17 & 2 & 19 & 15 & 17 & 24 \\ 3 & 27 & 19 & 28 & 16 & 23 \\ 0 & 1 & 14 & 17 & 15 & 10 \end{pmatrix}$$

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$b = sA + e = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2, 4, 6)$$

$\{1, 2, \dots, m = 6\}$ から $n = 3$ 個選んだ

命題2 (a)の例

$$n = 3, m = 6$$

$$A = \begin{pmatrix} 17 & 2 & 19 & 15 & 17 & 24 \\ 3 & 27 & 19 & 28 & 16 & 23 \\ 0 & 1 & 14 & 17 & 15 & 10 \end{pmatrix}$$

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$b = sA + e = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2, 4, 6)$$

$\{1, 2, \dots, m = 6\}$ から $n = 3$ 個選んだ

$$A_c = \begin{pmatrix} 2 & 15 & 24 \\ 27 & 28 & 23 \\ 1 & 17 & 10 \end{pmatrix}$$

行列式0

A の c に沿った部分行列

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e_c = (1 \ 0 \ 1)$$

e の c に沿った部分行列

$$b_c = sA_c + e_c = (27 \ 21 \ 7)$$

b の c に沿った部分行列

命題2 (a)の例

$$n = 3, m = 6$$

$$A = \begin{pmatrix} 17 & 2 & 19 & 15 & 17 & 24 \\ 3 & 27 & 19 & 28 & 16 & 23 \\ 0 & 1 & 14 & 17 & 15 & 10 \end{pmatrix}$$

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$b = sA + e = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2, 4, 6)$$

$\{1, 2, \dots, m = 6\}$ から $n = 3$ 個選んだ

$$A_c = \begin{pmatrix} 2 & 15 & 24 \\ 27 & 28 & 23 \\ 1 & 17 & 10 \end{pmatrix} \quad \text{行列式} 0$$

A の c に沿った部分行列

$$s = (10 \ 16 \ 8)$$

$$e_c = (1 \ 0 \ 1)$$

e の c に沿った部分行列

$$b_c = sA_c + e_c = (27 \ 21 \ 7)$$

b の c に沿った部分行列

$$\Phi_{A_c}(x) = x^3 + 4x^2 + 27x$$

$$f_{A_c}(x) = \Phi_{A_c}(x)/x = x^2 + 4x + 27$$

$$B = f_{A_c}(A_c) = \begin{pmatrix} 13 & 10 & 14 \\ 1 & 27 & 13 \\ 28 & 12 & 23 \end{pmatrix}$$

$$b_c B = e_c B = (10 \ 22 \ 6)$$

命題2 (b)の例

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$e_c = (1 \ 0 \ 1)$$

$$b = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$b_c = (27 \ 21 \ 7)$$

$$B = \begin{pmatrix} 13 & 10 & 14 \\ 1 & 27 & 13 \\ 28 & 12 & 23 \end{pmatrix} \quad \text{階数 1}$$

$$b_c B = e_c B = (27 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2,4,6)$$

命題2 (b)の例

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$e_c = (1 \ 0 \ 1)$$

$$b = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$b_c = (27 \ 21 \ 7)$$

$$B = \begin{pmatrix} 13 & 10 & 14 \\ 1 & 27 & 13 \\ 28 & 12 & 23 \end{pmatrix} \quad \text{階数 1}$$

$$b_c B = e_c B = (27 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2,4,6)$$

命題2 (b)の例

$$e = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1)$$

$$e_c = (1 \ 0 \ 1)$$

$$b = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7)$$

$$b_c = (27 \ 21 \ 7)$$

$$B = \begin{pmatrix} 13 & 10 & 14 \\ 1 & 27 & 13 \\ 28 & 12 & 23 \end{pmatrix} \quad \text{階数 1}$$

$$b_c B = e_c B = (27 \ 21 \ 7)$$

$$c = (2,4,6)$$

$$\underbrace{(27 \ 21 \ 7)}_{b_c} \begin{pmatrix} 10 \\ 27 \\ 12 \end{pmatrix} = \underbrace{(1 \ 0 \ 1)}_{e_c} \begin{pmatrix} 10 \\ 27 \\ 12 \end{pmatrix} = 21$$

$$w = \begin{pmatrix} 0 \\ 10 \\ 0 \\ 27 \\ 0 \\ 12 \end{pmatrix} \quad \begin{pmatrix} 10 \\ 27 \\ 12 \end{pmatrix} \text{の } c \text{ に沿った拡張ベクトル}$$

$$bw = (2 \ 27 \ 17 \ 21 \ 21 \ 7) \begin{pmatrix} 0 \\ 10 \\ 0 \\ 27 \\ 0 \\ 12 \end{pmatrix} = 21$$

$$ew = (1 \ 1 \ 0 \ 0 \ 2 \ 1) \begin{pmatrix} 0 \\ 10 \\ 0 \\ 27 \\ 0 \\ 12 \end{pmatrix} = 21$$

$$bw = ew$$

内容

- **LWE 問題**
- **準備**
 - ケーリー・ハミルトンの定理など
- **提案手法**
 - 命題2
 - 命題2の具体例
 - **命題2の証明**
- **提案手法のLWE問題への適用**
- **まとめと今後の課題**

命題2 (a)の証明

(a) A_c の行列式が 0 ならば、 $f_{A_c}(x) := \Phi_{A_c}(x)/x$ とすると
 $f_{A_c}(x) \in \mathbb{F}_p[x]$ であり、 $b_c f_{A_c}(A_0) = e_c f_{A_c}(A_c)$

命題1

A の行列式が 0 $\Leftrightarrow \Phi_A(x)$ が根 0 を持つ

ケーリー・ハミルトンの定理

正方行列 A に対して、 $\Phi_A(A) = 0$ (零行列)

証明) $b_c = sA_c + e_c \dots \dots (1)$ が成り立つ

A_c の行列式が 0 なので、命題1 より $\Phi_{A_c}(x)$ は根 0 を持つ

よって、 $f_{A_c}(x) = \Phi_{A_c}(x)/x \in \mathbb{F}_p[x]$

ケーリー・ハミルトンの定理より

$$0 = \Phi_{A_c}(A_c) = A_c f_{A_c}(A_c)$$

(1)の両辺の右から $f_{A_c}(A_c)$ をかける

$$\begin{aligned} b_c f_{A_c}(A_c) &= s \underbrace{A_c f_{A_c}(A_c)} + e_c f_{A_c}(A_c) = e_c f_{A_c}(A_c) \\ &= 0 \end{aligned}$$

命題2 (b)の証明

(b) v^T を $f_{A_c}(A_c)$ の零ベクトルでない列ベクトルの1つとし、
 w^T を v^T の c に沿った拡張ベクトルとする。すると

$$bw = ew$$

証明) (a)より $b_c v = e_c v$
 w の定義より $bw = ew$

内容

- **LWE 問題**
- **準備**
 - ケーリー・ハミルトンの定理など
- **提案手法**
 - 命題2
 - 命題2の具体例
 - 命題2の証明
- **提案手法のLWE問題への適用**
- **まとめと今後の課題**

提案手法のLWE問題への適用

与えられているLWE問題 (A, b) s.t. $b = sA + e$,
ここで $A \in \mathbb{F}_p^{n \times m}$, $s \in \mathbb{F}_p^n$, $b, e \in \mathbb{F}_p^m$

1. $c = (c_1, c_2, \dots, c_n)$ s.t. $1 \leq c_1 < c_2 < \dots < c_n \leq m$ を選ぶ
2. A_c の行列式が0でなければ1.へ
3. A_c から固有多項式 $\Phi_{A_c}(x)$ を計算し、 $f_{A_c}(x) = \Phi_{A_c}(x)/x$ する
4. $f_{A_c}(A_c)$ から命題2(b)の w を計算する。 $bw = ew$ を満たす
5. $e = (y_1, y_2, \dots, y_m)$ とおくと、 $bw = ew$ は y_i を変数とする線形方程式を与える
6. この操作を繰り返し、 w を並べて行列 W を構成
7. $bW = eW$ が成り立つ。ただし、実験的に $\text{rank } W \leq m - n$
8. (整数計画問題を構成)

まとめと今後の課題

- まとめ

- LWE問題 (A, b) s.t. $b = sA + e$ に対して、
 A_c が行列式 0 を持つならば、 $b_c B = e_c B$ を満たす
行列 B を構成できる
- e を求める整数計画問題を構成できる

- 今後の課題

- 整数計画問題の作成の高速化
(ハードウェア実装)